

## ◇教区役職者決定

新型コロナウイルス拡大防止のため、四月より開催を延期していた教区会、組長会、教区委員会が開催され役員改選が行われた。

五月二十八日、臨時教区会が開かれ、議長、副議長、常備会員（七名）、監査委員（三名）が選出された。

六月四日、組長会が開催され、正副会長が選出された。

また、六月五日には、教区委員会（旧基幹運動推進委員会）が開かれ、森尾淳章教務所長が委員長に就任、副委員長二名と宗派中央委員会委員（委員から一名）が選出された。

（敬称略）

【教区会】議 長…佐々木秀誠（関野・得雄寺）

副議長…松原 武（若神・大乘寺）

常備会員…畠山 遵（水波・明徳寺）

中村 喜進（関野・正覚寺）

島 高志（新湊・圓徳寺）

津山 玄亮（糸岡・願称寺）

栗山 宣雄（川上・本福寺）

廣本 勝男（射水・広教寺）

北鹿渡文照（氷見東・長福寺）

監査委員…奥村 眞照（砺波・照伝寺）

麻生 修善（若神・専龍寺）

松波 孝之（氷見東・光福寺）

【組長会】会 長…村上 喜文（水波・西養寺）

副会長…池内 瑞雄（新湊・圓徳寺）

…土合 眞昭（射水・光源寺）

【教区委員会】

副委員長…城野 至界（伏木・善證寺）

…寺西 良夫（氷見東・明厳寺）

【中央委員会委員】 城野 至界（伏木・善證寺）

※詳しくは、今後発行予定の実践運動推進計画書をご清覧ください。

## 得度習礼講習会・考査のお知らせ

この度、本年度の講習会・考査を下記のとおり開催いたします。「得度願」提出予定の方には講習会受講が、原則、必須となっておりますので、ご準備よろしくお願いいたします。

尚、申込用紙は教務所にございます。40日前（7月17日）までに申し込みが必要です。

記

1. 期日 8月26日（水）～28日（金）  
（講習会2日考査1日）
2. 会場 福光教堂  
（南砺市福光974-2）
3. 定員 6名（定員に達し次第締切）

以上

## ◇御同朋の社会をめざす運動のコーナー

新型コロナウイルス禍とその後、仏教は力となり得るのか？

六月十日現在、日本では非常事態宣言が解除されたとはいえ、北九州市や東京では未だに複数の新規の感染が確認され、世界全体をみれば一日当たりの感染者の増加数が過去最高を更新し続けるなど歯止めがかからない状況が続いています。

今回の新型コロナウイルスは単なる感染症という問題を越えて、世界のあり方、私たちの生活や人間関係のあり方を一変させかねない大きな問題となっています。マスクはもはや感染症予防というだけでなく、入店の際のパスポートのようになり、せきやくしやみをすれば一斉に周囲から白い目で見られ、県外ナンバーの車を傷つけたり、人が集まる店舗に休業を要求する張り紙などをする「自粛警察」と呼ばれる行為など、市民が市民を互いに監視するかのよう相互不信・相互監視ともいえる状況が生じています。仏教はその新型コロナウイルスがもたらした問題と混乱に対して、力になり得たのでしょうか？そして感染が収束した後も恐らくは大きな禍根を残すであろう収束後の世界において、力になり得るのでしょうか？

現段階では、残念ながら非常にあやしく思えてなりません。

かつて東日本大震災が発生した際、多くの宗教者、とりわけ浄土真宗本願寺派をはじめ日本仏教界が大々的に支援に乗り出しました。当初は心の支援として「精神的な支援のために、こういう時こそ法話が大事。避難所や仮設住宅で法話会をしよう」という意見が非常に目立っていたのを記憶しております。

ところが実際にはそのような法話・布教活動はごく限られた範囲でしか行われませんでした。

家族を失った悲しみや混乱、避難生活の不安につけこんで入信をすすめる悪質な宗教団体が仮設住宅や避難所に押しかけて問題となったこともあり、仮設住宅や避難所では一切の宗教活動が禁止されたことも原因でした。しかし、それ以外に大きな理由として、家族や友人を目の前で失ったと悲しみと衝撃のただ中にいる方、仕事や家など生活に必要なすべてを失った方々に対して、何ら有効なメッセージを持っていなかったという事実突き当たったことが根本的な理由であったように考えています。

「おかげさま」「ありがたい・もったいない」「阿弥陀様がお救いください」これらは私たち本願寺派の布教・法話の典型的な例です。そのこと自体は別に間違いではないのですが、私自身、ボ

ランティアとして被災地を訪れその惨状を知った時に、今まさに苦境のただ中にある方々に、それらの法話をしたところでほとんど無意味であることを痛感せずにはいられませんでした。

私たち仏教教団は地縁・血縁のつながりの中で活動して参りました。地域の揉め事の仲裁役や相談役となるだけでなく、誰かが亡くなった際には、枕勤めに行き、通夜・葬儀・七日法要・四十九日の納骨、その後の年忌法要と、様々な場面で関わることにより、大事な家族を失った遺族の悲しみに向き合い、一種のグリーフケア（大切な人との死別によって起こる混乱と喪失感から立ち直っていくための助けとなる支援）の役割を果たしていたように思います。

ところが東日本大震災のように地縁・血縁などのつながりの無い場所に行くとなると全くの機能不全に陥った感がありました。結局、本願寺派以外の仏教教団も東日本大震災での支援活動は炊き出しやレクリエーションなど宗教活動とは異なる活動を中心に行っていました。継続的に訪問することによってつながりや関係性を築き、それによって避難生活に苦しむ方々の力となり支えになることを願っていたように思います。

今回の新型コロナウイルスのような感染症の流行は百年前のス

ペイン風邪の流行に見られるように、歴史的には何度も経験してきた事態です。ところが今回の新型コロナウイルスの流行によって日本仏教界は今までと決定的に異なる未知の状況に晒されることとなりました。

法座や法事は中止となり、葬儀すらも「葬儀は終了しました」と家族葬が中心となっています。もともと弱体化していたとはいえ僧侶・寺院と門信徒とのつながりが今まさに消滅していきこうとしています。今までも感染症の大規模な流行によって多くの死者を出したことはあっても、僧侶や寺院が「不要不急」としてこれほどまでに必要とされない時代は今まで無かったのではないかと思います。

私たちが依拠してきたつながりが絶たれていくこのような状況下で私たちは仏教徒として、宗教者としてどのような役割を果たしていくのか、世の人々の力となり得るのか？それこそ飢饉と疫病に苦しむ人々を目の前にして、苦悩し葛藤し煩悶した親鸞聖人以来の課題ではないでしょうか。私たちが奉じてきた「仏教」の内実が問われている状況が「今」なのだと思っています。

【高岡教区教務所・教区主幹 岡西好持】

◇これからの日程（6/14～7/22）◇

6月	教区・財団行事	教化団体・組行事
14	常例法座（中止）	
16		ビハーラ高岡総会
19		教学研究室 同朋企画委員会
24	教区委員会常任委員会 教区教材委員会 非戦・平和学習会	中仏通信おつとめ試験会
25	財団評議員会	
26	減免審査会・常備会	
29	組主幹会議	
30		仏婦執行部会
7月		
1		北陸藤の会総会（石川） （延期）
10		ヤスクニ委員会
13	臨時教区会	
14	常例法座（中止）	
17	会館永代経（中止）	
22	非戦・平和学習会	

【西本願寺高岡会館

永代経法要中止のお知らせ】

新型コロナウイルスの拡大防止のため、7月19日（金）修行予定でありました永代経法要は中止といたします。

以上

【今後の教区報発刊について】

新型コロナウイルスの拡大防止のため、教務所における行事開催を自粛いたしております。

紙面の構成上、2カ月に一度の発刊になる可能性がありますことお含みおきくださいますようお願い申し上げます。

以上

ラジオ放送～西本願寺の時間～

『みほとけとともに』

北日本放送（KNB）・738kHz.

◎毎週土曜日（本山制作）午前6:15～6:25

□第2・4日曜日（富山・高岡制作）午前6:00～6:10

◎6/27（土）：東井 義雄氏

（兵庫教区出石組東光寺 元住職）

「百千の灯あらんも 我を待つ灯はひとつ」

□6/28（日）：鷹屋義行氏

（高岡教区）

◎7/4（土）：東井 義雄氏

（兵庫教区出石組東光寺 元住職）

「仏さまの光 歓喜光」

◎7/11（土）：東井 義雄氏

（兵庫教区出石組東光寺 元住職）

「仏さまの光 超日月光」

□7/12（日）：未 定

（富山教区）

◎7/18（土）：東井 義雄氏

（兵庫教区出石組東光寺 元住職）

「俱会一処の世界」

◎7/25（土）：未 定

（未 定）

「未 定」

【西本願寺高岡会館の常例法座】

新型コロナウイルスの拡大に伴いの下記の通り、常例法座を中止いたします。

記

6月14日（日）中止

7月14日（火）中止

8月14日（金）中止

9月14日（月）中止

以上